**演題発表時に利益相反状態の開示をお願いします**

1．全ての発表において，利益相反状態の有無について開示を行ってください。

2．口頭発表の際に、以下のスライドを追加して開示をしてください。

**＜利益相反状態にある場合の雛形＞**

私の今回の演題に関連して，開示すべき利益相反状態は以下のとおりです．

役員・顧問職/寄付講座所属 　　　　　○○製薬株式会社

講演料など　　　　　　　　　　　　 □□製薬株式会社

研究費/奨学寄付金 　　　　　　　　　株式会社××ファーマ

第17回　NPO法人　日本不妊カウンセリング学会学術集会

**利益相反状態の開示**

筆頭演者氏名：○○ ○○

 所 属：△△△△産婦人科

**＜利益相反状態にない場合の雛形＞**

私の今回の演題に関連して，開示すべき利益相反状態はありません．

第17回　NPO法人　日本不妊カウンセリング学会学術集会

**利益相反状態の開示**

筆頭演者氏名：○○ ○○

 所 属：△△△△産婦人科

※利益相反状態の有無の基準は以下の通りです。

（1）企業や営利を目的とした団体の役員や顧問職としての報酬額

1つの企業または団体からの報酬が年間100万円以上

（2）研究に関連した企業株式の保有

1つの企業について1年間の株による利益（配当， 売却益の総和）が100万円以上，または当該企業の全株式の5％以上。

（3）研究に関連した企業，団体からの特許権使用料

1つの特許権使用料収入が年間100 万円以上

（4）研究に関連した企業，団体から，会議の出席（発表）に対し支払われた日当（講演料など）

1つの企業または団体からの年間の日当が合計50万 円以上

（5）研究に関連した企業，団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料

 1つの企業または団体からの年間の原稿料が合計50万円以上

（6）研究に関連した企業，団体から提供された研究費や奨学寄付金（奨励寄付金）

1つの研究に対して支払われた総額が年間200万円以上

（7）その他の報酬（研究とは直接無関係な旅行，贈答品など）

1つの企業または団体か ら受けた報酬が年間5万円以上